

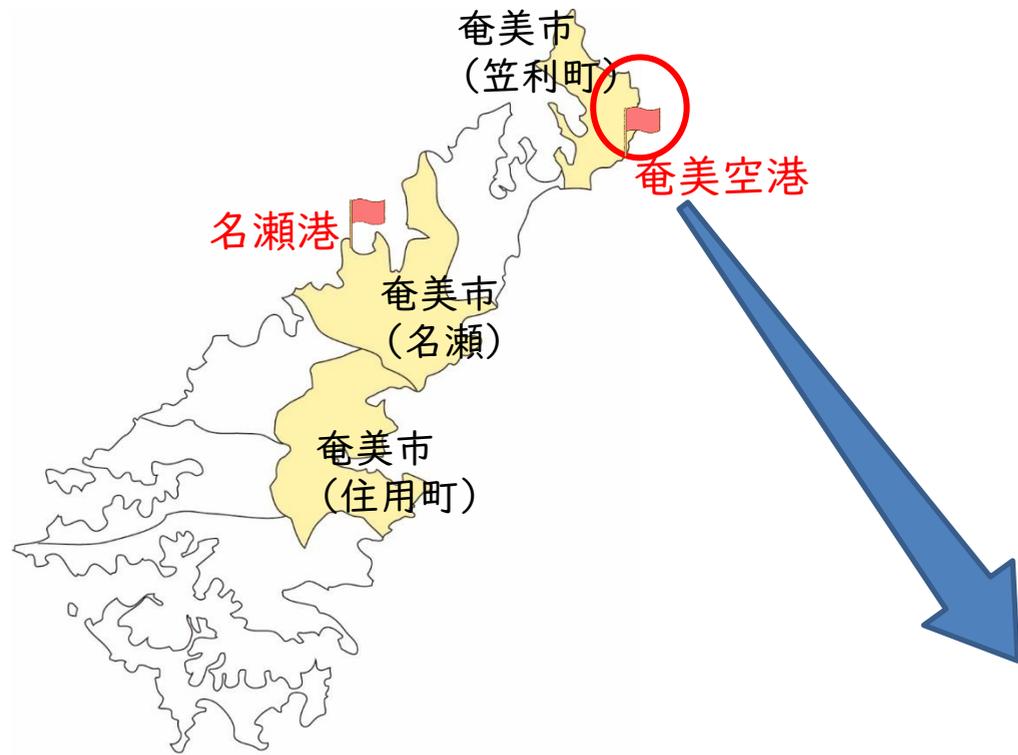
宇宿貝塚史跡公園リニューアルによるSDGs加速化事業

～観光×教育×環境サステイナブル・ハブ整備プロジェクト～



令和6年5月
奄美市プロジェクト推進課

奄美市の概要



人口:39,786人 面積:308.33K㎡
 地理条件:鹿児島県本土から南西380kmに位置する

(地域課題)
 人口は、今後大きく減少していくと予想され2015年と比較して2045年には41.3%減少

(地域資源)
 多様な自然環境を有し、世界的に独特で重要な絶滅危惧種や固有種の生息・生育地となっていることが世界的に認められ、令和3年7月26日に世界自然遺産へ登録された。



宇宿高又遺跡
 宇宿小学校遺跡
 万屋グスク遺跡

宇宿漁港



喜子川遺跡



宇宿貝塚史跡公園

奄美空港

奄美市歴史民俗資料館

土盛海岸
 青い海と白い砂浜が特徴の奄美を代表する観光スポット



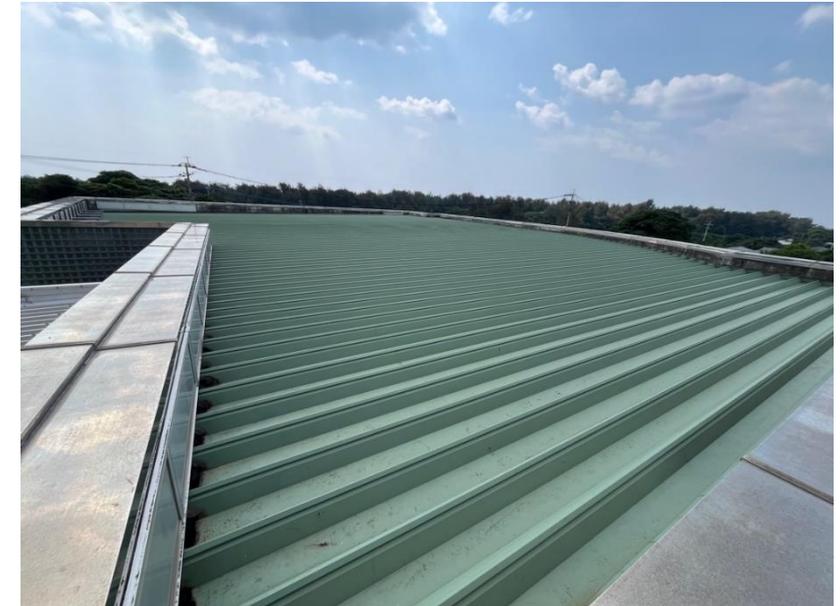
土盛マツノト遺跡
 喜子川遺跡

大瀬海岸
 奄美を代表する野鳥スポットとしても知られ、冬の風物詩でもあるリュウキュウアサギマダラの越冬がみられる

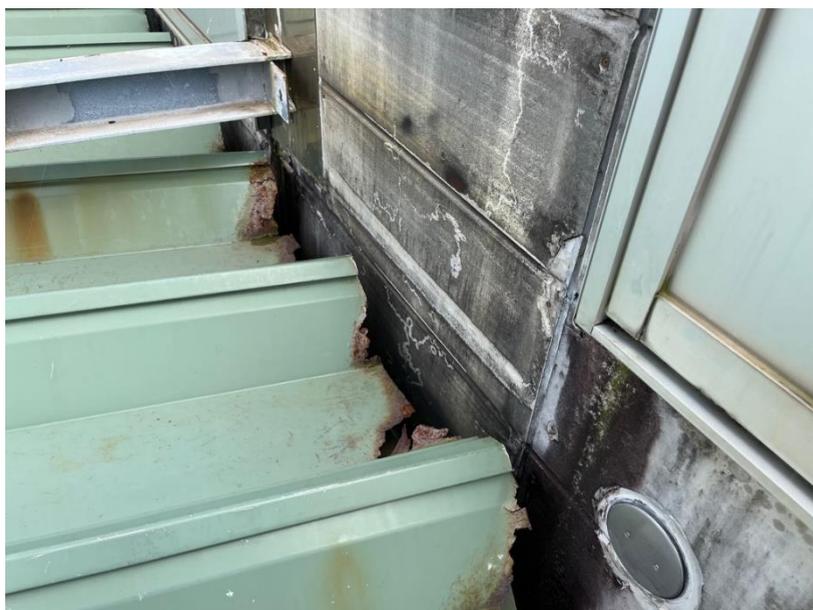


宇宿農村公園

宇宿貝塚遺跡公園の概要



宇宿貝塚は、鹿児島県奄美市笠利町宇宿にある縄文時代から中世にかけての複合遺跡である。縄文時代の石組の竪穴建物跡や貯蔵穴、中世の土坑墓などの遺構や土器、石器や骨角器、貝製品などの遺物が発見され、昭和61年（1986）10月7日に国史跡に指定された。



宇宿貝塚史跡公園は、国史跡「宇宿貝塚」の真上に整備された施設である。この公園は、発掘調査で発見された遺構・遺物や調査の跡を埋め戻さずに露出展示している。



宇宿貝塚史跡公園リニューアルによるSDGs加速化事業概要

事業目的
 自然・動植物とそこに暮らす人々が共存共生し、環境に負荷をかけない『**縄文生活**』、「世界に誇る自然環境・生物多様性と深い歴史が共に歩み、新しい価値を創造する『**環境文化**』」を発信する施設として、「宇宿貝塚史跡公園」のリニューアルを図り、SDGsの拠点として位置づけると共に観光・教育・環境の拠点施設を目指して整備を行います。
 拠点施設では、多様な主体との連携したSDGの推進活動を行うとともに観光・教育・環境に効果を発揮する各種取り組みを行います。本事業では、民間事業者と連携した施設のリニューアル整備を行う事を目的とする。

宇宿貝塚史跡公園拠点整備



令和6年度宇宿貝塚史跡公園整備事業概要

1. リニューアル(空間リニューアルにより魅せる空間整備)
 ※照明取替、間仕切り等による空間整備
2. ワークスペース設置(学びの場、体験の場、交流の場を新設)
3. 展示用備品設置(ショーケース等の設置)

● **奄美市SDGs推進プラットフォームの運営**

1. SDGs普及啓発
2. 登録・表彰制度の構築
3. 子供ポスター展
4. オール奄美による推進

● **世界が認めた自然共生に基づく「奄美大島観光ブランドの構築」**

1. 自然遺産及び縄文を活用した観光振興(ツアー造成、宿泊・飲食事業)
2. 環境配慮型観光の醸成(人材育成・発信)
3. ユニバーサルツーリズムの推進
4. 観光人材育成(接遇レベル・情報発信能力向上)

● **奄美の魅力を引き出し「地域の担い手確保」**

1. 学校教育・教職員研修での活用
2. 島外からの修学旅行の受け入れ実施
3. 地域の魅力発信と共に子供を見守る環境整備
4. 島に帰る・暮らしたいを促す情報発信・魅力発信

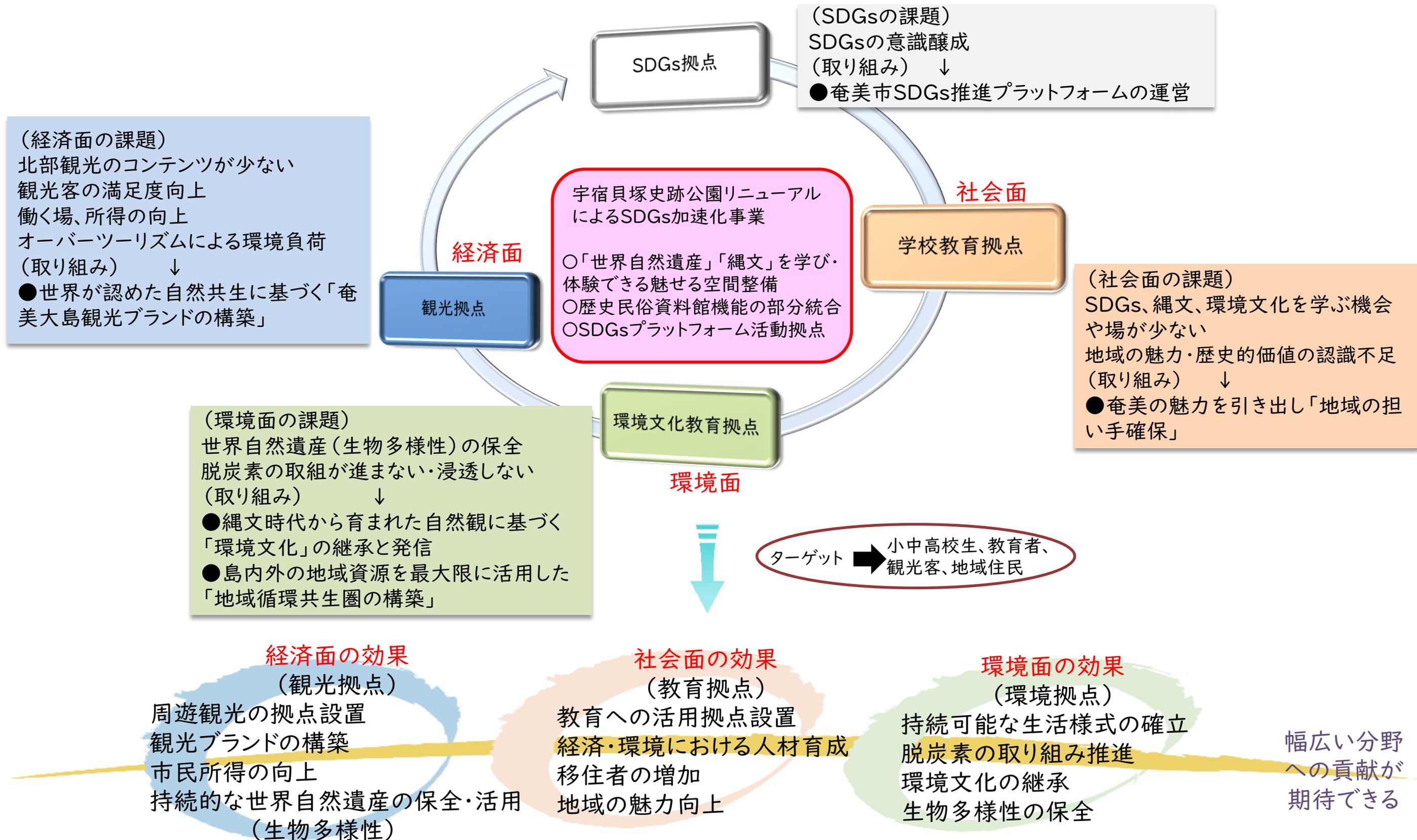
● **縄文時代から育まれた自然観に基づく「環境文化」の継承と発信**

1. 環境文化及び縄文文化をSDGsと併せ分かりやすく発信
2. 環境学習の機会の増加

● **島内外の地域資源を最大限に活用した「地域循環共生圏の構築」**

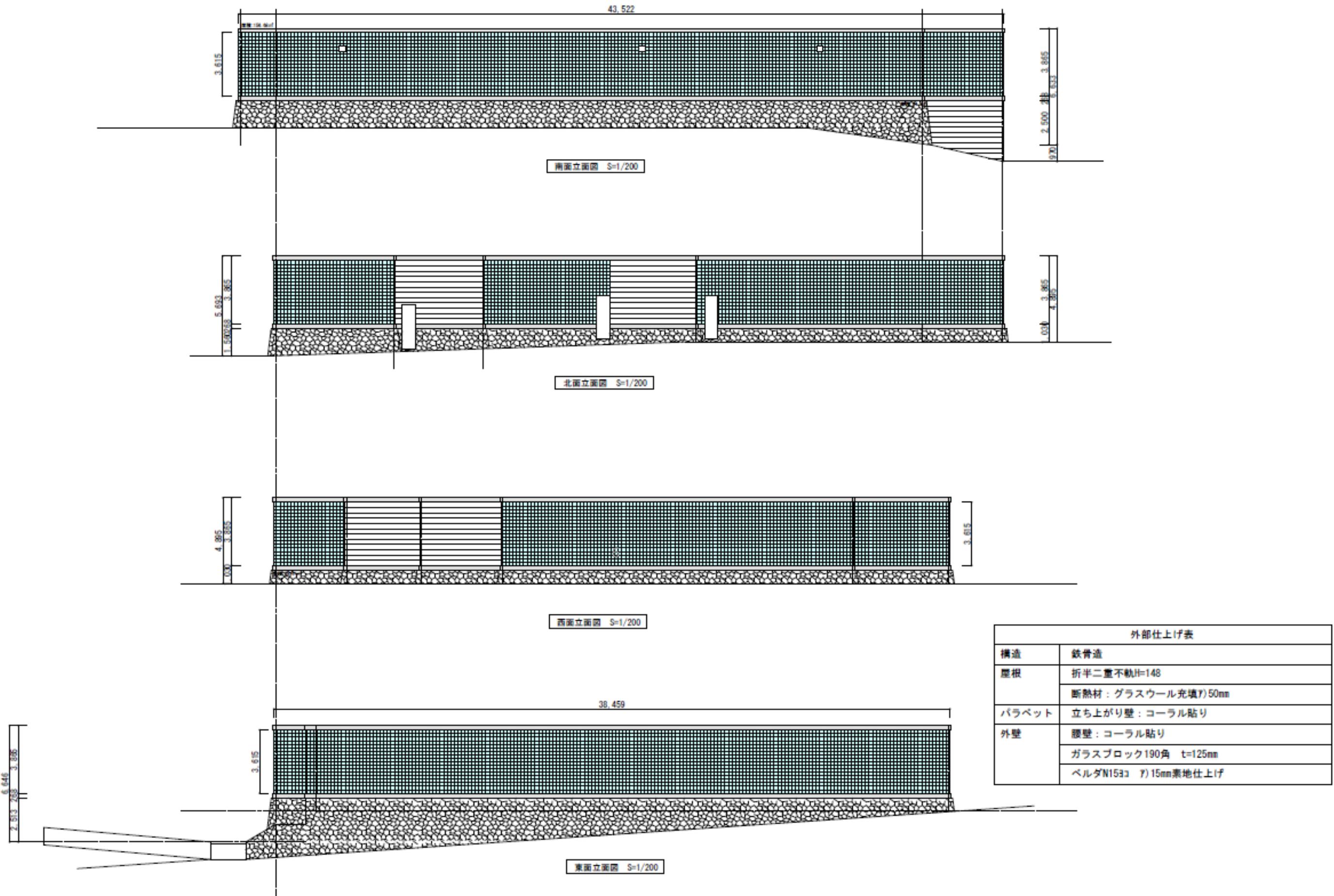
1. 施設におけるゼロエネルギービルドの導入
2. 地球温暖化防止活動実行計画に基づく伝統知と科学知の融合(集中的設備導入支援、伝統知掘り起こし)

宇宿貝塚史跡公園リニューアルによるSDGs加速化事業
～観光×教育×環境サステナブル・ハブ整備プロジェクト～

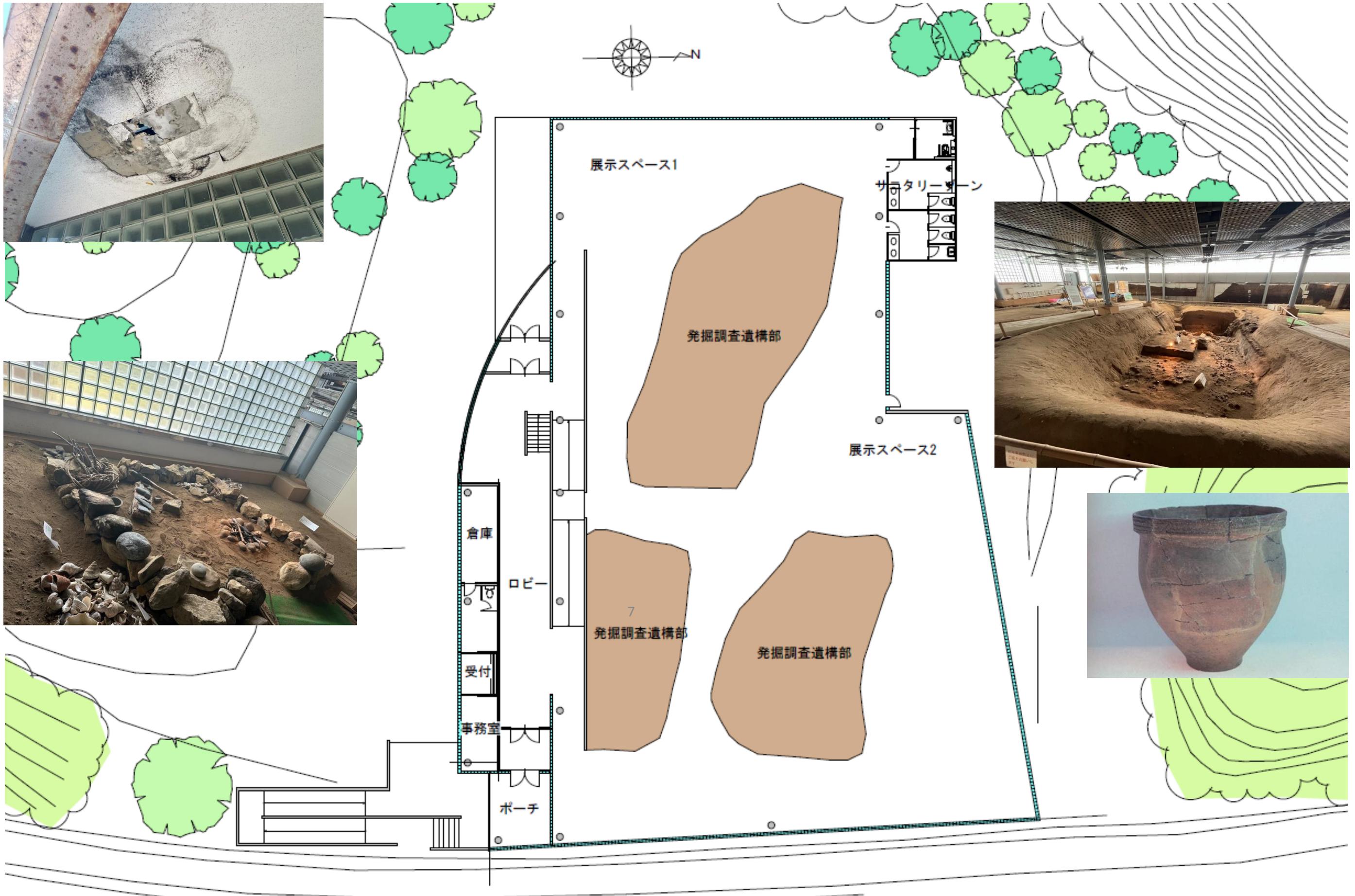


「世界自然遺産」と「縄文」が織りなす環境文化経済循環都市の実現

(既存) 立面図



(既存) 平面図

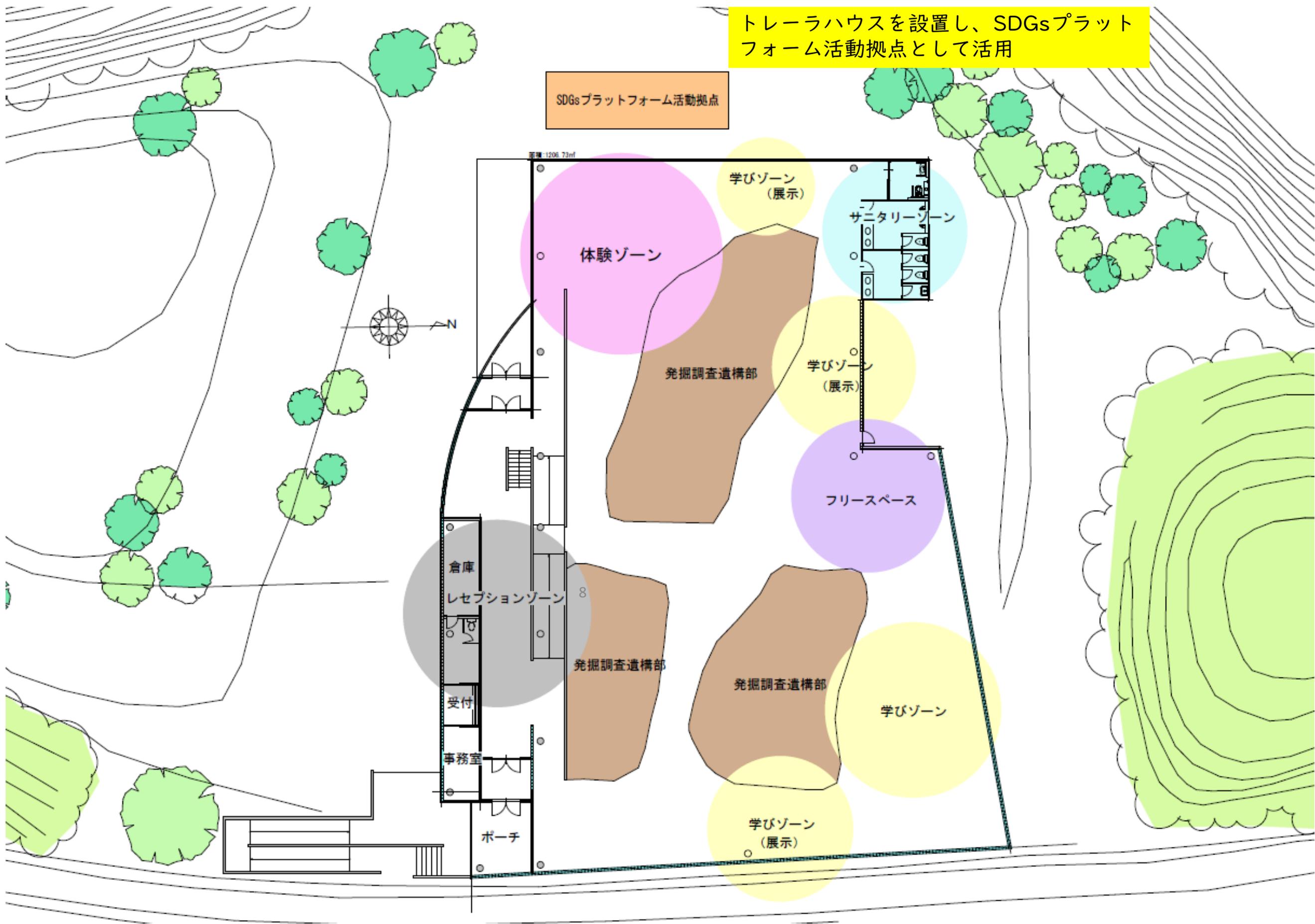


構造	敷地面積	建築面積	延床面積
鉄骨造平屋建て	3, 785.00 m ²	1, 190.82 m ²	1, 173.55 m ²

宇宿貝塚史跡公園リニューアル(案)

トレーラハウスを設置し、SDGsプラットフォーム活動拠点として活用

SDGsプラットフォーム活動拠点



スケジュール(案)

公募開始	令和6年8月1日(木)
現地説明会	随時
参加表明書の受付期間	令和6年9月2日(月)
企画提案資料の受付期間	令和6年9月9日(月)
プレゼンテーション及びヒアリング審査	令和6年9月24日(火)
契約の締結	令和6年10月上旬
施設改修の設計・施工	令和6年10月上旬～令和7年3月21日(金)

事業者の皆様へお伺いしたいこと(今年度事業)

- ①施設の特色や立地条件を考慮した、施設のコンセプト及び集客力につながるアイデアの提案について(縄文、世界自然遺産、SDGs等)
- ②市がお支払いする上限額に応じ、柔軟な提案を行うことについて
- ③本事業が令和7年3月までに完了する見込みについて
- ④宇宿貝塚保存活用計画書の内容に沿った提案及び宇宿貝塚史跡公園活用検討委員会による提案を柔軟に取り組むことについて

事業者の皆様へお伺いしたいこと (次年度以降の展開)

- ① 周辺施設を含めた観光拠点づくりの可能性について
- ② 周辺施設を活用した収益事業実施の可能性について
- ③ 施設におけるデジタル技術の活用について
- ④ 本施設の再生にかかる改修費用及び維持管理、運営にかかる費用を民間事業者に求めることの可能性について
- ⑤ 奄美文化財サポーターDEIDEIDEI（市民ボランティアサークル）の活用に関する提案について

